

令和 8 年 山岳遭難発生状況

長野県警察本部山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況

(1) 年間の発生状況 (1 月 1 日～9 月 13 日)

区 分	発生件数	遭難者	死者	行方不明	負傷者	無事救出
本 年	2 4 6	2 7 3	3 5	3	1 0 9	1 2 6
前 年	2 8 4	3 1 7	3 3	4	1 4 1	1 3 9
前年比	△ 3 8	△ 4 4	+ 2	△ 1	△ 3 2	△ 1 3

(2) 夏山期間中の発生状況 (7 月 1 日～8 月 31 日)

区分	発生件数	遭難者	死者	行方不明	負傷者	無事救出
本 年	1 2 9	1 3 8	1 3	1	6 7	5 7
前 年	1 4 3	1 5 4	6	0	7 5	7 3
前年比	△ 1 4	△ 1 6	+ 7	+ 1	△ 8	△ 1 6

2 夏山における遭難の傾向

(1) 山域別

- ア 北アルプスが約 7 割、八ヶ岳、中央アルプス、南アルプスが合わせて約 2 割
- イ 夏の北アルプスでの発生は 88 件中、後立山連峰が 40 件、槍穂高連峰が 29 件

(2) 態様別

- ア 転倒が 38 件で最多。滑落は 30 件で、死者 13 人中 7 人が滑落
- イ 疲労は 29 件で、体力不足や熱中症に起因する疲労遭難に加え、悪天候時に行動したことに起因する低体温症による行動不能となる遭難も多発
- ウ 落雷が 2 件で、いずれも雷雨や雷注意報発令時に行動し、被雷または感電

(3) 年齢別

50 歳以上の遭難者が 105 人 (76.1%)、60 歳以上では 73 人 (52.8%)

(4) 居住地別

- ア 県外居住者が 125 人 (90.5%) で、うち関東圏は 51% (36.9%)
- イ 訪日外国人は 18 人 (13%)

3 救助活動等

129 件の遭難のうち、警察へりは 63 件に出動、防災へりは 13 件に出動。
(他県へりの出動を含む)

令和 7 年度 登山計画書の届出状況について

観光スポーツ部山岳高原観光課

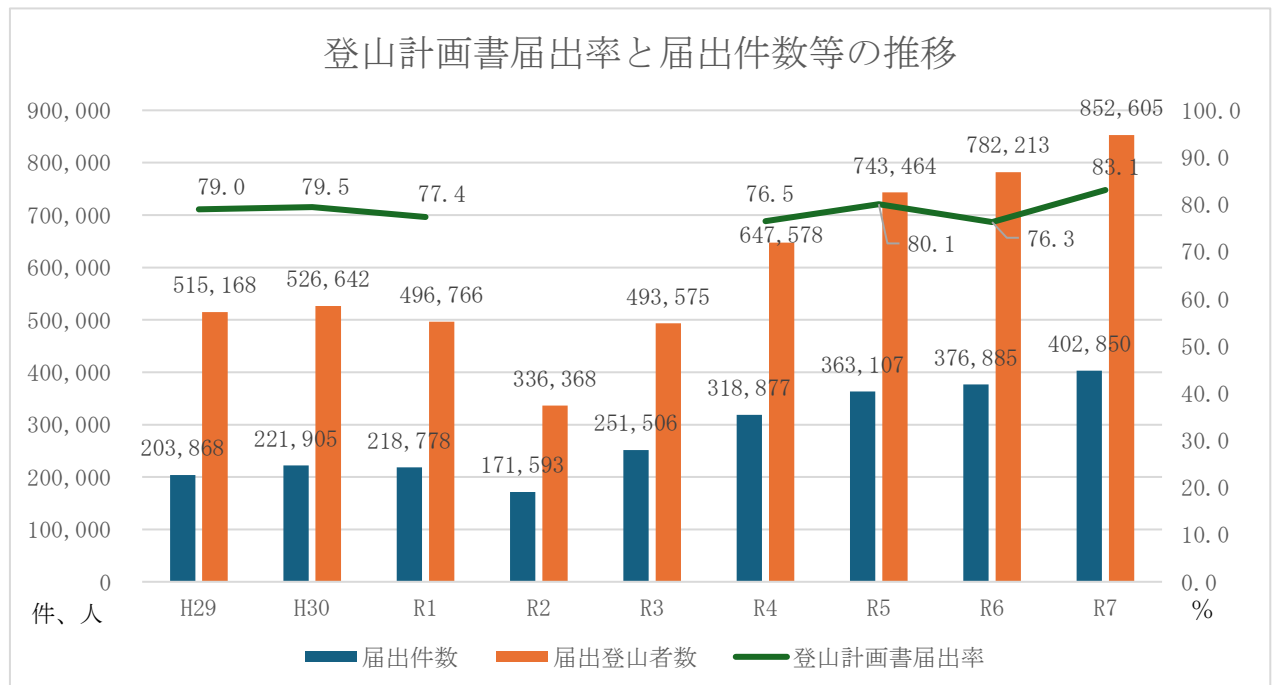
1 届出方法別の件数及び届出登山者数（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）

届出方法	R7 届出件数 (前年度比)		届出登山者数 (前年度比)	(参考) 令和 6 年度の届出状況		
		構成比		件 数	構成比	届出登山者数
登山ポスト※ ¹	78,705件 (▲10.6%)	19.5%	164,169人 (▲3.0%)	88,044件	23.4%	169,253人
FAX・郵送・持参	1,955件 (+1.5%)	0.5%	26,238人 (▲0.1%)	1,927件	0.5%	26,255人
インター ネット	322,190件 (+12.3%)	80.0%	662,016人 (+12.8%)	286,914件	76.1%	586,705人
	長野電 子申請	17,363件 (+8.3%)	44,552人 (+1.5%)	16,027件	4.2%	43,894人
	みなし 届※ ²	304,827件 (+12.5%)	617,646人 (+13.8%)	270,887件	71.9%	542,811人
合 計	402,850件 (+6.9%)	100%	852,605人 (+9.0%)	376,855件	100%	782,213人

※1 登山ポストの届出登山者数は、届出された登山計画書から一部を抽出して推計しています。

※2 条例に基づき、県に届け出たとみなす団体（コンパス、ヤママップ）が受け付けた登山計画書を計上しています。

2 登山計画書の届出状況の推移



※令和 2～3 年度はコロナ禍のため登山計画書届出率の調査未実施

- 届出件数は、コロナ禍を除いて基本的に増加傾向。
- 令和 7 年は、例年よりも多くの登山者が訪れ、届出件数・登山者数とも過去最多を記録。
- 届出別では、「登山ポスト」が件数・割合ともに年々減少傾向にあり、「インターネット」による届出が全体を押し上げている。